

救 助 ・ 救 急

一 目 統 計

平成 13 年中

救 助 出 場 件 数 (うち 特別救助隊 出場件数)	166 件 105 件)
救 助 活 動 件 数 (うち 特別救助隊 活動件数)	117 件 74 件)
活 動 割 合	70.4%
出 場 延 べ 隊 数	425 隊
救 助 人 員	126 人
1 日あたりの平均出場件数	0.45 件
活動 1 回あたりの平均救助人員	1.07 人

救助の多い少ない

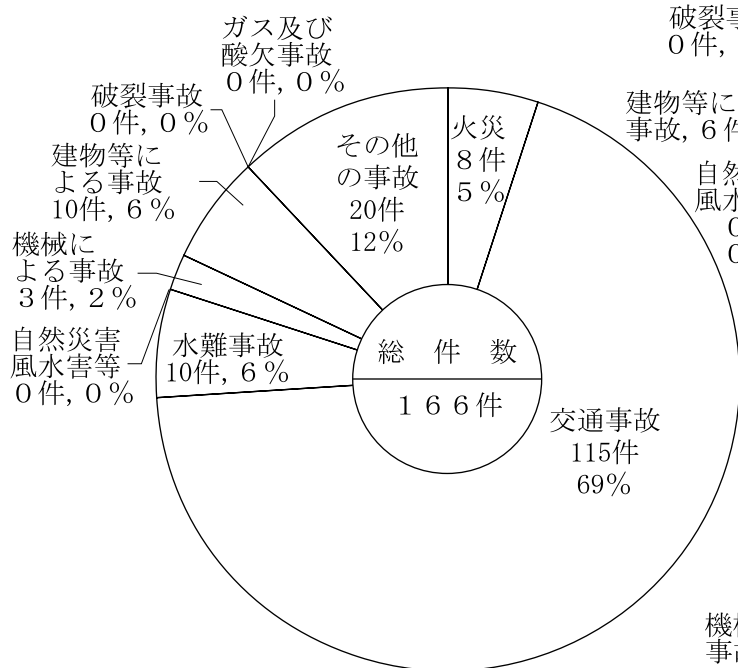
出 場 件 数 の 多 か っ た 月	11 月	19 件
出 場 件 数 の 少 な っ た 月	5 月	5 件
出 場 件 数 の 多 っ た 曜 日	月曜日	35 件
出 場 件 数 の 少 な っ た 曜 日	日曜日	15 件
出 場 件 数 の 多 っ た 地 区	富田地区	12 件
出 場 件 数 の 少 な っ た 地 区	同和地区	0 件
出 場 件 数 の 多 っ た 時 間 帯	11 時～ 12 時	11 件
出 場 件 数 の 少 な っ た 時 間 帯	3 時～ 4 時	2 件
出 場 の 多 っ た 事 故 種 別	交通事故	115 件
出 場 件 数 の 1 番 多 っ た 日	10 月 27 日	5 件

救出・救助活動状況

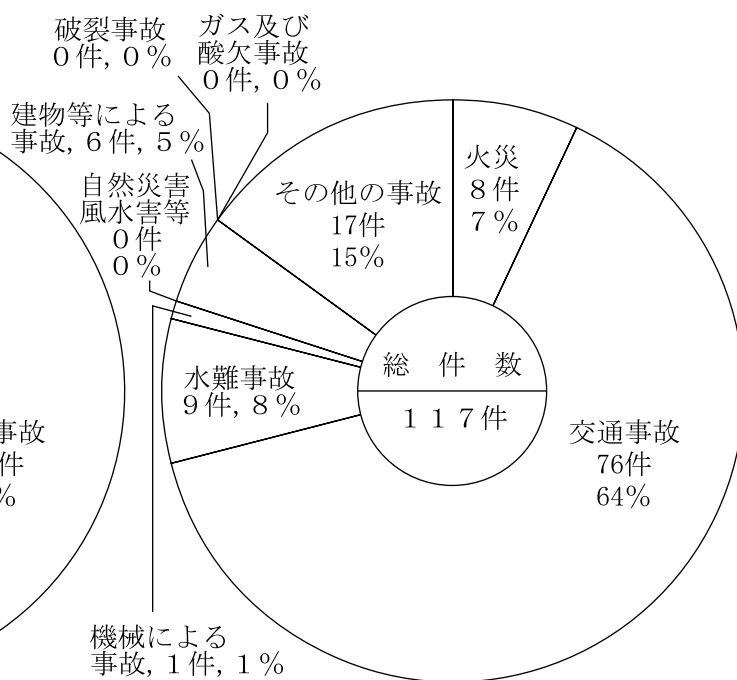
(平成13年中)

	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自然災害・風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出 場 件 数	8	115	10	0	3	10	0	0	20	166
出 場 隊 数	15	307	29	0	10	19	0	0	45	425
出 場 延 べ 人 員	64	1,100	95	0	37	69	0	0	156	1,521
活 動 件 数	8	76	9	0	1	6	0	0	17	117
救 助 人 員	9	87	7	0	1	6	0	0	16	126

出 場 件 数
(平成13年中)



活 動 件 数
(平成13年中)



一 目 統 計

平成13年中

救 急 出 動 件 数		9,613 件
搬 送 件 数		8,870 件
不 搬 送 件 数		743 件
搬 送 人 員		9,264 人 男 5,114 人 女 4,150 人
一日あたりの平均出場件数		26.3 件
一日あたりの平均搬送人員		25.4 人
救急告示医療機関数		19 施設 (川越町2施設) (朝日町1施設)

救急の多い少ない

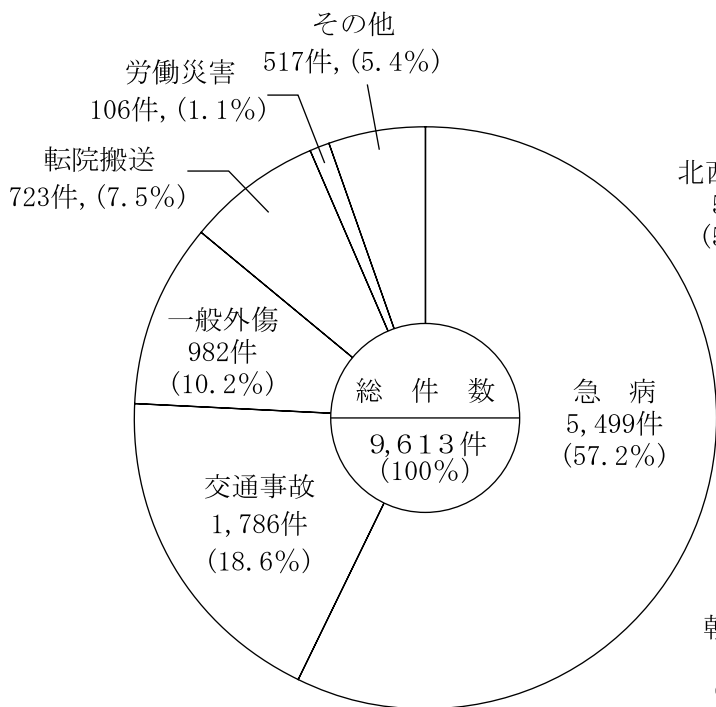
出場件数の多かった月	12月	880 件
出場件数の少なかった月	5月	720 件
出場件数の多かった曜日	日曜日	1,428 件
出場件数の少なかった曜日	木曜日	1,307 件
出場件数の多かった地区	常磐地区	744 件
出場件数の少なかった地区	同和地区	20 件
出場件数の多かった時間帯	10時～12時	1,093 件
出場件数の少なかった時間帯	4時～6時	381 件
出場の多かった事故種別	急 病	5,499 件
出場件数の一番多かった日	10月6日 11月12日	44 件
出場件数の一番少なかった日	11月15日	12 件

救急事故概要

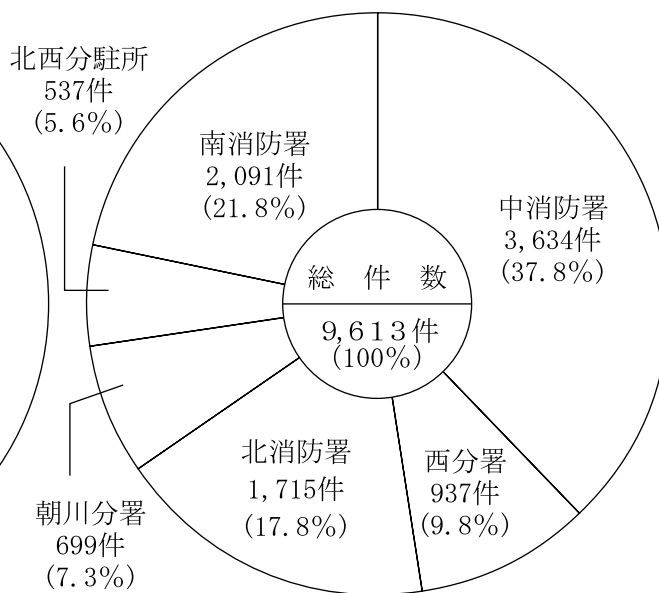
(平成13年中)

区分	件数・人員	一日平均
救急出動件数	9,613件	26.3件
搬送件数	8,870件	24.3件
搬送人員	9,264人	25.4人

(事故別救急出場件数)
(平成13年中)



(救急隊別件数)
(平成13年中)

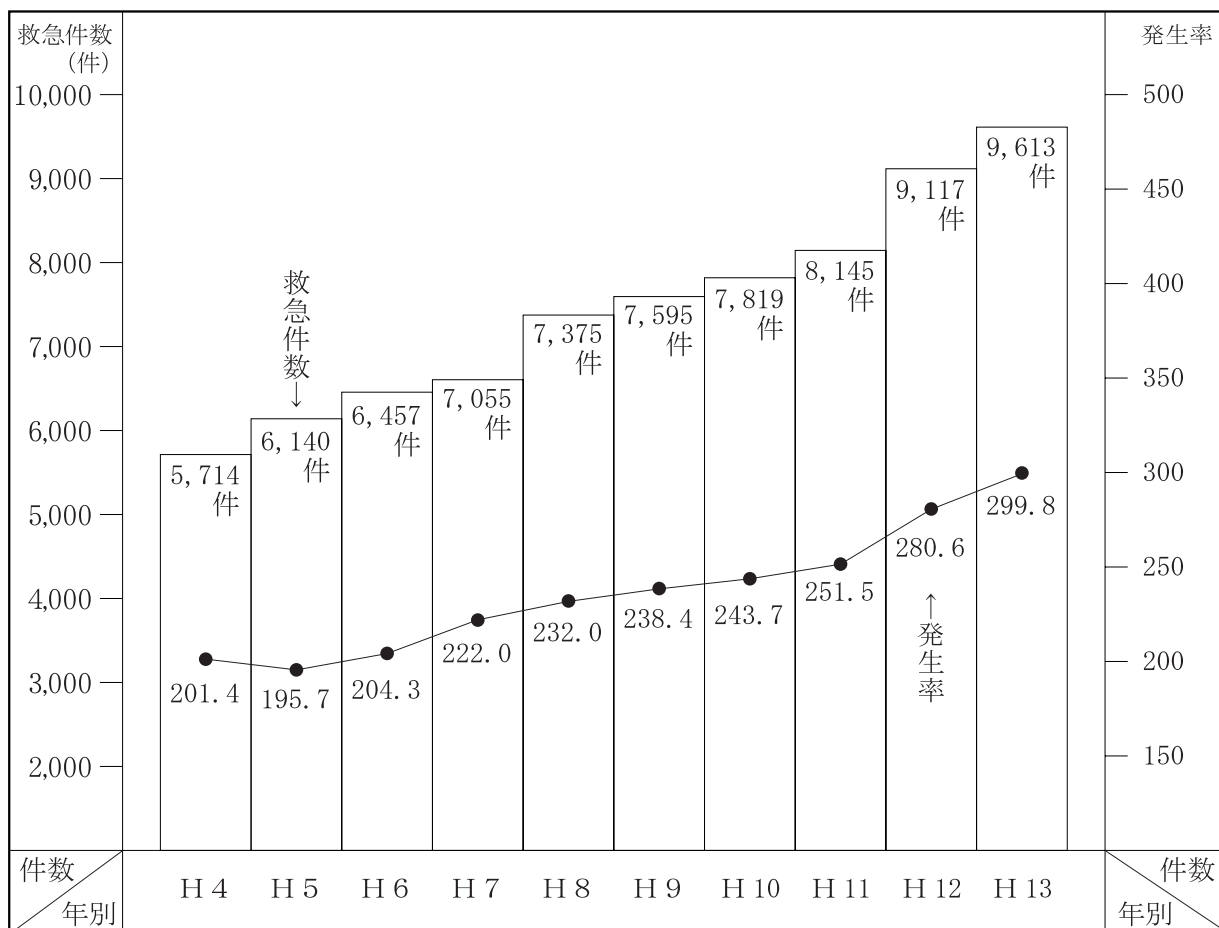


救急事故発生状況比較

区 分		年 別				
		平成 9 年中	平成 10 年中	平成 11 年中	平成 12 年中	平成 13 年中
全 国	救急件数	3,476,504 件	3,702,075 件	3,930,024 件	4,182,675 件	4,415,378 件
	発 生 率	277.0 件	295.4 件	313 件	329.5 件	349.8 件
三 重 県	救急件数	42,990 件	45,637 件	48,834 件	53,187 件	57,141 件
	発 生 率	232.2 件	245.4 件	265.2 件	288.6 件	311.8 件
四日海市 (受託3町 含む)	救急件数	7,595 件	7,819 件	8,145 件	9,117 件	9,613 件
	発 生 率	238.4 件	243.7 件	251.5 件	280.6 件	299.8 件

※平成5年から受託3町を含めた内容となっている ※発 生 率 = $\frac{\text{救急件数}}{\text{人口}} \times 10,000$

過去10年間の救急発生状況



地区別救急出場状況

(平成13年中)

火災状況 地区別		出 場 件 数		搬 送 件 数		搬 送 人 員	
		件数	(%)	件数	(%)	人数	(%)
合 計		9,613 ^(件)	100.00 ^(%)	8,870 ^(件)	100.00 ^(%)	9,264 ^(件)	100.00 ^(%)
中 消 防 署	小 計	4,289	44.62	3,933	44.34	4,116	44.43
	共 同	572	5.95	509	5.74	534	5.76
	同 和	21	0.22	20	0.23	20	0.22
	中 央	125	1.30	116	1.31	119	1.28
	港	139	1.45	127	1.43	131	1.41
	浜 田	578	6.01	520	5.86	549	5.93
	橋 北	227	2.36	213	2.40	223	2.41
	海 蔵	250	2.60	230	2.59	238	2.57
	常 磐	752	7.82	712	8.03	744	8.03
	川 島	148	1.54	132	1.49	133	1.44
	神 前	232	2.41	201	2.27	213	2.30
	桜	427	4.44	397	4.48	411	4.44
	県	183	1.90	162	1.83	169	1.82
	三 重	635	6.61	594	6.70	632	6.82
北 消 防 署	小 計	2,296	23.88	2,142	24.15	2,202	23.77
	羽 津	492	5.12	453	5.11	475	5.13
	富 田	431	4.48	402	4.53	410	4.43
	富洲原	314	3.27	296	3.34	302	3.26
	大矢知	352	3.66	330	3.72	342	3.69
	八 郷	302	3.14	285	3.21	292	3.15
	下 野	270	2.81	252	2.84	254	2.74
保 々	135	1.40	124	1.40	127	1.37	
南 消 防 署	小 計	2,164	22.51	1,997	22.51	2,108	22.75
	塩 浜	259	2.69	243	2.74	253	2.73
	日 永	687	7.15	641	7.23	664	7.17
	四 郷	542	5.64	499	5.63	523	5.65
	内 部	315	3.28	285	3.21	313	3.38
	河原田	155	1.61	149	1.68	155	1.67
	小 山 田	118	1.23	106	1.20	121	1.31
	水 沢	88	0.92	74	0.83	79	0.85
東 名 阪	23	0.24	20	0.23	32	0.35	
市 外	小 計	841	8.75	778	8.77	806	8.70
	朝日町	189	1.97	169	1.91	179	1.93
	川越町	371	3.86	337	3.80	348	3.76
	楠 町	278	2.89	269	3.03	277	2.99
	そ の 他	3	0.03	3	0.03	2	0.02

月別救急出場状況

(平成13年中)

事故例	区分	月別												
		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	出場件数	9,613	800	748	850	822	720	751	837	763	772	809	831	880
	搬送人員	9,264	807	712	831	784	702	710	801	740	761	791	801	831
火災	出場件数	79	4	9	6	11	7	5	7	8	3	4	9	6
	搬送人員	26	3	3	2	5	2	1	3			1	2	4
自然災害	出場件数													
	搬送人員													
水難	出場件数	5							1	1	1			1
	搬送人員	2								1	1			
交通	出場件数	1,786	143	123	146	149	149	146	173	146	134	153	171	153
	搬送人員	2,042	163	133	181	176	167	167	193	162	162	179	189	170
労働災害	出場件数	106	7	9	11	15	7	11	9	10	7	6	7	7
	搬送人員	103	7	10	11	14	7	11	8	10	6	6	7	6
運動競技	出場件数	93	5	7	7	6	13	13	13	4	8	8	3	6
	搬送人員	100	7	7	7	6	14	14	13	4	8	9	5	6
一般負傷	出場件数	982	94	69	73	86	75	93	78	66	84	94	82	88
	搬送人員	932	88	68	67	77	72	87	75	64	81	91	79	84
加害	出場件数	112	11	10	10	10	10	11	8	8	7	8	8	4
	搬送人員	107	9	10	10	9	9	8	7	10	9	8	9	4
自損行為	出場件数	136	6	13	13	10	11	18	9	14	5	13	13	10
	搬送人員	93	3	9	9	6	7	13	6	12	3	9	10	8
急病	出場件数	5,499	488	440	440	475	386	382	476	446	454	447	470	534
	搬送人員	5,129	452	409	409	440	367	348	444	428	429	416	438	488
転院搬送	出場件数	723	68	59	59	50	55	62	52	46	64	73	62	61
	搬送人員	716	68	59	59	49	55	61	52	46	62	72	62	61
その他	出場件数	92	4	9	4	10	7	10	11	13	5	3	6	10
	搬送人員	14		5	2	2	2			3				

救急業務高度化の現況

平成13年中の救急出場件数は9,613件、搬送人員は9,264人になり、救急業務法制化以降、増加の一途をたどっています。

これは、55分に1回の割合で救急出場し、管内の住民約35人に1人の割合で救急搬送されていることとなり、今や日常生活において必要不可欠のものとなっています。

救急業務の高度化を推進するため、平成3年に救急救命士制度が導入されて以来、鋭意救急救命士の養成を推進しています。また、覚知から救急車による現場到着までの所要時間の平均は6分42秒、覚知から救急車による医療機関への収容までの所要時間の平均は24分45秒となり、救急業務は時間との闘いの中で実施されているものと言えます。

一方、救急救命士は医師の指示の下で、特定三行為と呼ばれる

- 1 半自動式除細動器による除細動
- 2 薬剤を用いた静脈路確保のための輸液
- 3 ラリングアルマスク等器具による気道確保

の応急処置が実施可能であり、救命効果の向上に大きく寄与しています。

また、一般救急隊員についても、一定の教育訓練（救急Ⅱ課程又は救急標準課程）を受けることにより、従前には処置し得なかった

- 1 自動式心マッサージ器による心マッサージ
- 2 在宅療法の継続に必要な処置
- 3 ショックパンツによる血圧保持
- 4 血圧測定
- 5 聴診器による心音呼吸音聴取
- 6 血中酸素飽和度測定
- 7 心電図電送等
- 8 経鼻エアウェイによる気道確保
- 9 喉頭鏡・マギール鉗子による異物除去

の9項目にわたって応急処置等の範囲が拡大され、その処置実績も大幅に拡大しました。

◎ 救急救命士による特定3行為の処置実績と拡大9項目の応急処置件数

処置内容		気道確保	除細動	静脈路確保	小計	拡大9項目応急処置件数
処置の実績	平成7年中	0	2	0	2	3,773
	平成8年中	14	5	5	24	6,309
	平成9年中	13	6	1	20	10,406
	平成10年中	7	1	1	9	11,389
	平成11年中	16	6	5	27	14,726
	平成12年中	48	14	26	88	18,329
	平成13年中	39	12	26	77	19,722

応急手当の普及計画

四日市市では、119番通報を受けてから救急車到着までに6分42秒の時間を要しています。大切な人の命は、住民が応急手当の方法を身につけ、救急隊が到着するまでの間に、適切な応急手当を施すことによって、救われるものです。

四日市市は、平成6年から応急手当の普及を開始し、応急手当の普及に携わる指導員を手始めに、普通救命講習、上級救命講習、更には応急手当普及員講習といった各企業、団体において応急手当を普及できる人材の養成を行い、また消防職員についてはいかなる場合においても、救急現場に即応できるよう消防職員287名・消防団員316名の応急手当指導員を養成しました。なお、毎月第2土曜日に、一人でも参加できるように定期普通救命講習を実施しています。

応急手当普及啓発活動の状況

○普通救命講習実施概要 (116回) (平成13年中)

講習実施月	講習回数	男女別		修了者数計	職業別							
		男	女		消防団	自治会	公務員	P T A	事業所等	福祉関係	学校関係	その他
合計	116	1,153	1,193	2,346	108	209	234	601	342	427	136	289
1月	3	25	11	36		20			9			7
2月	6	19	68	87					15	62		10
3月	6	60	14	74		16			53			5
4月	5	40	18	58	22				7			29
5月	8	58	63	121	3				47	23	19	29
6月	23	177	357	534	69	33		244	38	121	15	14
7月	24	214	349	563		58		357	80		22	46
8月	2	14	33	47						26		21
9月	8	67	44	111	2				59	17		33
10月	13	107	99	206		32	38		15	66	2	53
11月	9	70	78	148	12				19	99		18
12月	9	302	59	361		50	196			13	78	24

○上級救命講習 (7回)

県立四郷高校	1回	40名 (男22, 女18)
県立朝明高校	2回	73名 (男24, 女49)
古川学園	1回	45名 (男25, 女20)
四日市医師会看護専門学校	2回	48名 (男5, 女43)
四日市市立四日市高等看護学院	1回	27名 (男, 女27)
合計	7回	233名 (男71, 女162)

○応急手当普及員が実施した普通救命講習の実績

コンビナート、一般事業所、その他	23回	299名
------------------	-----	------

○応急手当指導員数

消防本部・消防署	消防職員	287名
四日市市消防団	消防団	316名
保健センター	保健婦	3名

応急手当普及活動による救命率の向上

応急手当普及啓発活動により、管内の救急隊が搬送した心肺停止傷病者の内、住民が家族等によって応急手当を受けた傷病者が増加し、救命効果の上昇に大きく寄与しています。

- ◎ 救急隊が搬送した全ての心肺停止者のうち、救急隊の到着時に家族等により応急手当が実施されている場合の1か月後の生存者の割合

年 別	救急隊が搬送した全ての 心肺停止傷病者数	家族等により確認され応急 手当が実施された傷病者数	そのうち 1か月後生存者数
		家族等により応急手当が実 施されていない傷病者数	そのうち 1か月後生存者数
平成 7 年	163人	22人(13.5%)	0人(0.0%)
		141人(86.5%)	0人(0.0%)
平成 8 年	162人	24人(14.8%)	0人(0.0%)
		138人(85.2%)	3人(2.2%)
平成 9 年	192人	32人(16.7%)	0人(0.0%)
		160人(83.3%)	5人(3.1%)
平成 10 年	207人	46人(22.2%)	1人(2.2%)
		161人(77.8%)	3人(1.9%)
平成 11 年	199人	54人(27.1%)	4人(7.4%)
		145人(72.9%)	1人(0.7%)
平成 12 年	222人	42人(18.9%)	2人(4.8%)
		180人(81.1%)	9人(5.0%)
平成 13 年	204人	69人(33.8%)	2人(2.9%)
		135人(66.2%)	5人(3.7%)